

平成 21 年 7 月 17 日

農林中央金庫

## 森林組合トップセミナーおよび 森林再生基金（FRONT80）助成先第 3 回事業発表会の開催について

### 1 開催趣旨等について

- (1) 農林中央金庫は、全国森林組合連合会との共催により森林組合トップセミナーを開催するとともに、森林再生基金助成先による事業発表会を併催いたします。
- (2) 森林組合トップセミナーは、森林組合系統の経営層によるリーダーシップ発揮をより強固なものにしていくことを目的に開くもので、今回 2 回目の開催となるものです。このセミナーでは、哲学者の内山節氏をお招きし、森林組合が今後進むべき方向についてお話いただきます。
- (3) また森林再生基金事業発表会では、当金庫が平成 17 年に創立 80 周年を契機として設定した「公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金(FRONT80)」の第 3 回目の助成先による事業完了報告を行います。この公益信託は、信託財産 10 億円、期間 10 年程度とし、1 年あたり 1 億円程度を助成し、国内の荒廃した民有林を再生する事業・活動に対する支援を通じて、社会貢献事業に取り組むものです。当該取組は、もともと民有林を再生する非営利の団体を支援し、そのアイデアを広く一般に紹介することを目的のひとつとしており、この発表会もその一環で開催するものであります。
- (4) 今回、報道関係の皆様には、森林組合トップセミナー・森林再生基金事業発表会（30 日のみ）の模様を公開いたしますので、以下のとおりご案内いたします。

### 2 日程・場所・出席者

- (1) 日程 平成 21 年 7 月 30 日(木) 13 時半～31 日(金) 11 時
- (2) 場所 グランドプリンスホテル赤坂 五色 1 階「赤瑛の間」(東京都千代田区紀尾井町 1-2)
- (3) 出席者 全国の森林組合・都道府県森林組合連合会の経営層、森林再生基金関係者等

### 3 森林組合トップセミナー・森林再生基金事業発表会の概要

- (1) 森林組合トップセミナー (30 日 13 時半～15 時)
  - a テーマ: 「林業と山村がどう生き残っていくか」(仮題)
  - b 講師: 内山節氏

1950 年生まれ。哲学者。1970 年代に入った頃から、東京と群馬県上野村に住居を構え、人間のあり方や自然・労働に関する哲学を模索。山村・森林問題にも造詣が深い。現在、NPO 法人・森づくりフォーラム代表理事など。著書に「自然と人間の哲学」(岩波書店)、「里の在処」(新潮社)、「森にかよう道」(新潮社) など多数。

(2) 森林再生基金事業発表会

a 第3回助成対象先による発表 (30日 15時～17時)

| 助成対象先                                            | 事業内容                                                                                                                |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 森林組合あおもり<br>(青森県)                                | ・ 昭和 40 年代前半からスギを中心とした拡大造林をおこなってきたところであるが、ヒバの適地であり、郷土樹種であるヒバを活かした森林再生への取組をおこなうもの。                                   |
| はんい<br>飯伊森林組合<br>(長野県)                           | ・ マツクイムシにより壊滅的な被害を受け、里山でありながら全体的に荒廃しており、161 名の所有者の理解を求め、森林管理計画の作成、広葉樹・ヒノキへの転換、長伐期施業の取組、広葉樹のシイタケ原木・薪としての活用などを実施するもの。 |
| NPO法人<br>山里の暮らしと<br>豊かな森を守る会<br>(長野県)            | ・ オートキャンプ場や温泉施設をつなぐ県道の周辺地域で、周辺木が道路を覆うなど荒廃しているところ。道路沿いの森林景観整備をおこない、伐採木は、シイタケ原木や薪炭原木として有効活用を図るもの。NPO法人して、初めての助成決定先。   |
| みよしちほう<br>三次地方森林組合<br>かみふの<br>上布野生産森林組合<br>(広島県) | ・ 組合員の高齢化等にともない、林業経営が困難になりつつある上布野生産森林組合と一部共同で再生事業をおこなうもの。なお、三次地方森林組合は、第1回に続き、2 度目の助成先。                              |

b 総括報告 (30日 17時～18時)

報告者：野村一正氏 (農林中金総合研究所顧問)

1946 年茨城県生まれ。1970 年時事通信社入社。経済部記者として、大蔵省(現・財務省)、通商産業省(現・経済産業省)、運輸省(現・国土交通省)、建設省(現・国土交通省)、農林水産省などの官庁、および家電業界、コンピュータ業界、食品業界、鉄鋼業界、運輸業界などの民間業界を担当。1989 年から「農林経済」編集長、1998 年から編集局編集委員、解説委員兼整理部長などを務め、2006 年 4 月から現職。同年 7 月から内閣府食品安全委員会委員。葉たばこ審議会委員、水産政策審議会委員、食料・農業・農村政策審議会統計部会臨時委員、バイオマス・ニッポン総合戦略推進アドバイザーグループ委員などのほか、農政ジャーナリストの会会長を務める。

c 特別講演 (31日 9時半～11時)

(a) テーマ：「勝負に勝つリーダー学」

(b) 講師：豊田泰光氏 (西鉄ライオンズOB・プロ野球解説者)

1935 年茨城県生まれ。水戸商の遊撃手として甲子園出場。1953 年、西鉄ライオンズに入団し、新人王獲得。1956 年から西鉄の 3 年連続日本一に貢献し、首位打者やシリーズ MVP など数々のタイトルに輝く。1969 年、現役引退。1972 年より評論活動に入り、現在に至る。現役時代は「サムライ豊田」と呼ばれ、チャンスにめっぽう強い打者として活躍。現在は、辛口野球解説者として、また日経新聞「チェンジアップ」等にも執筆、多くのファンを持つ。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報IR部 (TEL 03-5222-2017)

**(報道関係の皆様へ)** 会場準備の都合上、当日の取材を希望される場合には、**7月23日(木) 15時までに**上記問合せ先までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。